

## 2014 年度 北海道生物多様性保全活動連携支援センター (HoBiCC) 事業報告

### 1 設立記念事業

#### ■HoBiCC 設立記念フォーラム

開催日時	場所	参加者	主催
6月14日(土) 13:00~15:30	道新ホール	400人	HoBiCC 北海道新聞社 酪農学園大学
内容・講師			
<p><b>【講演】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOとしての役割 ～札幌市のヒグマ対策を例に 早稲田 宏一 氏 (NPO 法人 Envision 環境保全事務所)</li> <li>・ついに大雪山高山帯にも侵入したセイヨウオオハナマルバチ ～セイヨウ情勢から侵入経路を推定する～ 丹羽 真一 氏 (株さっぽろ自然調査館 主任技師)</li> <li>・都市部における生物多様性保全への取り組み ～いきものと共生する緑豊かな街づくりを目指して～ 竹内 和也 氏 (三菱地所㈱環境・CSR 推進部 副長)</li> </ul>			
			
<p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IWMC 実行委員会 事務局長 吉田 剛司 氏 (酪農学園大学教授)</li> </ul>			
<p><b>【同時開催：パネル&amp;トランクキット展】</b></p>			
			

### 2 HPの開設

- 開設日：平成 26 年 6 月 11 日
- コンテンツ：『HoBiCC とは』『理解しよう』『取り組もう』『リンク』
- アクセス件数： 9, 000 件



### 3 普及啓発事業

- HoBiCCパンフレット  
イベント等で配布  
印刷部数：2,000部



### ■第5回 国際野生動物管理学会議 (IWMC) プレシンポジウム 『大型哺乳類と人間の境界線』

開催日時	場所	参加者	主催
8月9日(土) 13:00~16:30	札幌国際ビル 8F 国際ホール	180人	HoBiCC 日本哺乳類学会 米国野生動物学会 (The Wildlife Society) 北海道新聞社
内容・講師			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催趣旨説明 梶 光一氏(東京農工大学教授:日本哺乳類学会理事長)</li> <li>・基調講演 ヒトと野生動物の競合に関する生態学的・社会的な課題 ーカナダ・マニトバ州における都市に出没するオジロジカとホッキョクグマの事例ー リック・ベイダック氏(カナダ・マニトバ大学教授:アメリカ野生動物学会 2014-2015 会長)</li> <li>・IWMC 開催に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>①北海道におけるヒグマ管理の現状と課題 ー駆除中心の事後対応から科学的・予防的管理への転換を目指してー 佐藤 喜和氏(酪農学園大学教授)</li> <li>②大型哺乳類を管理する担い手像 ー改正鳥獣法を理想的に運用するにはー 伊吾田 宏正氏(酪農学園大学准教授)</li> </ul> </li> <li>・質疑応答 コーディネーター:齊藤 隆氏(北海道大学教授) パネラー:梶 光一氏/リック・ベイダック氏/佐藤 喜和氏/伊吾田 宏正氏</li> <li>・閉会挨拶 吉田 剛司氏(酪農学園大学教授:IWMC 実行委員会事務局長)</li> </ul>			

■ 『札幌市豊平川さけ科学館 30 周年記念フォーラム～豊平川と野生サケを考える』

開催日時	場 所	参加者	主 催
11月3日(月・祝) 14:30～17:30	札幌国際ビル 8F 国際ホール	114 人	札幌市豊平川さけ科学館指定管理者:(公財)札幌市公園緑化協会
			共 催 HoBiCC 札幌ワイルドサーモンプロジェクト(SWSP)

内 容 ・ 講 師

- ・「カムバックサーモン運動の歴史と豊平川のサケへの思い」  
木村 義一 氏(北海道サーモン協会代表)
- ・「豊平川のサケの現状とサケの順応的管理計画案」  
有賀 望 氏(swsp 共同代表/札幌市公園緑化協会)
- ・「札幌の生物多様性対策における豊平川の野生サケ保全活動の位置づけ」  
島山 亜希子 氏(札幌市環境局環境都市推進部生物多様性担当)
- ・「野生魚を保全する意味」  
荒木 仁志 氏(北海道大学大学院・農学研究院教授)
- ・「豊平川のより良い未来に向かって ワイルドサーモンプロジェクトの意義と可能性」  
中村 太士 氏(北海道大学大学院・農学研究院教授)
- ・パネルディスカッション  
「これから豊平川にサケが生きることについて～市民の視点から」  
司会 平田 剛士 氏 (SWSP 事務局長、フリーランス記者)  
パネリスト 小川 巖 氏(エコネットワーク代表)  
佐藤 博充 氏(山鼻小学校教諭)  
木村 義一 氏  
有賀 望 氏



■ 国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) 生物多様性地域セミナー in 北海道

開催日時	場 所	参加者	主 催
11月16日(日)	札幌市円山動物園 動物科学館ホール	80 人	国連生物多様性の 10 年日本委員会(UNDB-J) 環境省 北海道 札幌市
			共 催 HoBiCC 生物多様性自治体ネットワーク

内容・講師

- ・「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」  
UNDB-Jキャラクター「タヨちゃんサトくん」、  
北海道キャラクター「えこ之助」札幌市キャラクター「カッコー先生」
- ・講演・生物多様性リーダー任命式  
小菅 正夫 氏(元旭山動物園園長)
- ・UNDB-J が推奨する認定連携事業等の取組発表
- ・エクスカーショ  
テーマ別に動物園ガイドツアー



■ 『森林資源保全に向けたシカ食害軽減推進シンポジウム』  
～シカ肉ジビエの美味しさをひろめよう～

開催日時	場 所	参加者	主 催
11月18日(火) 16:00～19:00	『3x3Labo(さんさんらぼ)』千代田区大手町 2-6-2 日本ビル6階	100人	三菱地所(株)、北海道、HoBiCC、環境省、 (社)大丸有環境共生型まちづくり推進協会、 (社)大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり推 進協会、リガーレ(大丸有エリアマネジメント協 会)

内容・講師

【シンポジウム】

- ・開会挨拶  
堀上 勝 氏(環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性施策推進室 室長)
- ・鳥獣による被害の深刻化と鳥獣の積極的な管理への転換  
東岡 礼司 氏(環境省 自然環境局 野生生物課 鳥獣保護業務室 室長補佐)
- ・シカの獣害と加工・流通における北海道の取組み  
坂下 智恵子 氏(北海道 環境生活部 環境局 エゾシカ対策課 有効活用担当課長)
- ・鳥獣害による森林被害の現状と企業の取組み  
堀 隆博 氏(住友林業(株) 山林環境本部 山林部 シカ対策担当)
- ・ジビエ料理提供における現状と要望  
柳館 功 氏(丸の内シェフズクラブメンバー『LE REMOIS』(ル・レモア)オーナーシェフ)
- ・シカの影響低減の為に生態系管理  
梶 光一 氏(東京農工大学大学院 教授、日本哺乳類学会理事長、  
第5回国際野生動物管理学会共同議長)

【懇親・試食会】

- ・開会挨拶  
川城 邦彦 氏(北海道 環境生活部 部長)  
吉田 淳一 氏(三菱地所(株) 常務執行委員)
- ・本日の料理説明  
石崎 英治 氏(㈱クイージ 代表取締役)



■ 第 15 回 北海道淡水魚保護フォーラム in 札幌

『どうなる？どうする？ニジマス・ブラウントラウト ～「規制」と「利用」の両立を模索する～』

開催日時	場 所	参加者	主 催
1 月 25 日 (日) 13:00～16:30	札幌国際ビル 8F 国際ホール	100 人	北海道淡水魚保護ネットワーク HoBiCC
内 容 ・ 講 師			
<p>【基調講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「我々は外来生物にどう向き合うべきか？」 五箇 公一(国立環境研究所)</li> </ul> <p>【事例紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道に生息するニジマスとブラウントラウトについて」 長谷川 功(北海道区水産研究所)</li> <li>・「北海道の外来種対策について」 武田 敏朗(北海道環境生活部)</li> <li>・「ニジマス釣り・ブラウントラウト釣りを科学する」 坪井 潤一(増養殖研究所)</li> <li>・「釣り人にとってのニジマス」 三浦 幸浩(ニジマス未来プロジェクト)</li> <li>・「子ども達に本物を伝えよう ～在来種は、おもしろい～」 町田 善康(美幌博物館)</li> </ul> <p>【パネルディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ:外来種とどう付き合うべきか コーディネーター 長谷川功、坪井潤一</li> </ul>		 	

■ 北の生物多様性連続講座 (第 3 回)

「建設分野と生物多様性保全 ～地域の生態系をどう保全し、持続可能な開発につなげるか～」

開催日時	場 所	参加者	主 催
1 月 29 日 (木) 14:00～16:00	北海道建設会館 9 階 大会議室	100 人	HoBiCC 一般社団法人札幌建設業協会
			共 催
			環境省北海道環境パートナーシップオフィス 北海道 CSR 研究会
内 容 ・ 講 師			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道開発局における生物多様性保全の取り組みについて」 菊田 悦二 氏(国土交通省北海道開発局開発監理部 開発環境課 課長補佐)</li> <li>・「清水建設における生物多様性の評価技術とその展開」 横田 樹広 氏(清水建設(株)技術研究所高度空間技術センター 都市環境計画グループ 主任研究員)</li> </ul>			

#### 4 外来種対策

##### ■セイヨウオオマルハナバチ駆除イベント

開催日時	場 所	参加者	主 催
5月24日(土)	えこりん村(恵庭)	45人	北海道 アレフ(株)
			共 催
			HoBiCC
内 容 ・ 講 師			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セイヨウオオマルハナバチの生態・影響、見分け方、虫取り網を用いた捕獲方法の説明等</li> <li>・セイヨウオオマルハナバチ 駆除活動の実施（えこりん村 銀河庭園内）</li> </ul>			
			

##### ■「セイヨウ情勢」の運用

東京大学が開発運用していた外来種目撃駆除情報共有サイト「セイヨウ情勢」の運営を引き継ぐため必要な手続き及び関係機関との調整を行い、入力システムを暫定的に再開(2014年6月11日)今年度中の本格運用を目指していたが、サーバーにトラブルが発生し、その修復作業に時間を要しており、本年4月末に運用を開始できる予定。

#### 5 活動支援

後志地域生物多様性協議会主催の「森・川・海の恵み公開シンポジウム」に講師派遣

日程:11月28日(金)13:30から16:00 会場:倶知安町中小企業センターホール  
主催:後志地域生物多様性協議会 協賛:(公財)北海道環境財団

後志地域の豊かな生物多様性を活かし、経済活動を含む地域活性化へつなげる取組について、エコツアーへの発展や北海道生物多様性保全活動連携支援センター(HoBiCC)との連携についての話題提供と、各地の事例報告を実施。

#### 6 基盤形成の検討(科学的知見の集積・情報発信等)

10月に香川県で開催された第17回自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC17)において、道環境科学研究センターから、「生物多様性情報の収集・提供に向けた連携可能性について」のポスター発表を実施。

(発表内容)

今後の生物多様性情報の提供・発信の形として、環境省と各地域のプラットフォームを同一システムで設計するなど国と地域が強力に連携し、地域のプラットフォームの運営についてはHoBiCCのような地域連携保全活動支援センターが主体となることが望ましい旨提案。

#### 7 その他

道から生物多様性地域連携促進法に基づき、HoBiCCが北海道における地域連携保全活動支援センターの指定を受ける(平成26年5月)